



タニタ方式のCRUについて

2016年7月26日 (株) タニタ 国際物流管理室 横山



会社概要

会社名：株式会社タニタ

本社：東京都板橋区前野町1-14-2

創業：1923年3月

創立：1944年1月

代表取締役：谷田千里

資本金：5,100万円

社員数：1,200人*グループ含、2016年3月現在

事業内容：家庭用・業務用計測計量機器（体脂肪計、クッキングスケール、電子塩分計、血圧計、デジタルカロリースケール、携帯型デジタル尿糖計）などの製造・販売

これまでのタニタCRU(コンテナラウンドユース) の取り組み

- 1997年4月 NPO(ESCOT)の協力による
新潟インランドデポからのCRU開始
- 2007年8月 OICT(太田国際)でのCRU開始
- 2009年4月 OOCL山形インランドデポでのCRU開始
- 2010年3月 JR貨物盛岡ICD利用でのCRU開始
- 2013年10月 JR貨物新潟東貨物駅利用でのCRU開始
- 2016年4月 JR貨物日本海側ルート利用による内貨輸送+CRU

特徴.....

- ・ESCOTメンバーとの定期的情報交換によるCRUの実施（船社の変更等）
- ・上質グレードコンテナの供給（AAクラス）
- ・鉄道と陸上を併用したCRUの実施
- ・海上コンテナの内貨輸送後に再度輸出用に転用

今後の展望.....

- ・現在JR貨物が開発中の低床式の40Feet用台車全て海上コンテナでの輸送ができ、さらに輸送費のコストダウンとCO2削減が可能に!
- ・様々な輸送手段を駆使してのCRU取組み

Thank You!

